

科目名	知的障害者の心理		担当教員	野村 香代	
単位	2単位	講義区分		ナンバリング	ED2SSR102
期待される学修成果	子ども理解 学校と社会				
アクティブラーニングの要素	ディスカッション、ディベート				
実務経験	臨床心理士、公認心理師				
実務経験を生かした授業内容	臨床心理士として、医療機関、教育現場で心理相談を行ってきた経験に基づき、知的障害児の困り感や支援のあり方について考える視点を提供する。				
到達目標及びテーマ	知的障害児・者の心の発達について学び、実際の教育における具体的な留意点、特に心理面をふまえた学習支援、およびメンタルケアについて理解することができる。				
授業の概要	まずは、知的障害の定義・診断基準、分類の基礎知識を習得する。そのうえで、知的障害児・者の心理発達について学ぶ。さらに、将来を見据えた支援、強みを活かす支援について考える。				

授業計画	
第1回	イントロダクション：知的障害を取り巻く環境
第2回	知的障害の診断基準と分類
第3回	知的障害の原因と周産期の問題
第4回	乳幼児期にみられる知的発達の問題
第5回	知的障害児の特徴①：言語・コミュニケーション
第6回	知的障害児の特徴②：注意と記憶
第7回	知的障害児の特徴③：学習
第8回	就園・就学支援
第9回	進路選択
第10回	就労支援と結婚・子育て
第11回	家族支援
第12回	自己受容と諸問題
第13回	知的障害児者が抱える課題：グループ発表①
第14回	知的障害児者への支援：グループ発表②
第15回	講義のまとめと最終レポート

事前学修	2時間	授業で取り組む内容について、テキストの該当ページを読んでおくこと。また、知的障害に関連するニュースや新聞記事に目を通して置くこと。
事後学修	2時間	授業で配布する資料を、授業をふり返りながら読み、要点をまとめておくこと。
フィードバックの方法	①振り返りシート、レポートは、必要に応じてコメントをして返却。質問事項に関しては講義で解説を加える。 ②グループ発表後に、コメントや補足説明を行う。	

成績評価方法	割合 (%)	評価基準等
上記以外の試験・平常点評価	100%	①振り返りシート(30%)、③グループ発表(20%) ③最終テスト：基礎知識(20%)/支援に関する論述(30%)
定期試験	0%	実施しない
補足事項		

教科書				
書名	著者	出版社	ISBN	備考
知的障害児の心理・生理・病理[第2版]: エビデンスに基づく特別支援教育のために	勝二 博亮 編著	北大路書房	4762832391	ISBN-13 : 978-4762832390
参考資料				